大分市立
野津原小学校
学校だより

のつはる

主体的に学び 行動できる児童の育成

第5号
令和8年6月10日
校長 水田 匡彦

■睡眠実績のふり返り

毎朝、お忙しい中、『すいみんふり返りカード』（2年生～6年生）の記入に協力いただき、ありがとうございます。お子さんの就寝時刻、起床時刻、睡眠時間を改めて確認いただくと、多くの気づきがあるのではないでしょうか。

小学生が十分な睡眠時間を確保することは、大人以上に重要です。この理由は、睡眠により、①心身の成長、②心の安定、③学習内容の定着、が促されるからです。繰り返しのお伝えで恐縮ですが、とても大切なことです。

一週間の睡眠時間を解析したところ、2年生から6年生の児童の平均睡眠時間はちょうど9時間でした。一見、良いように思いますが、実はそうではありません。平均9時間が意味する所は、半分の児童は9時間以上、半分の児童は9時間以下、ということです。つまり、半分の児童は十分な睡眠時間を確保できていないということになります。ぜひ、睡眠時間を記録するだけではなく、生活をふり返り、考えて、次の行動に活かしてほしいと思います。

この取組は、7月17日まで続けます。お子さんの健全な成長のため、ご面倒ではありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。この機会に、ご家庭での時間の使い方について、話をされてみては如何でしょうか。

■いよいよ、修学旅行

6月11日（木）、12（金）に、6年生は、修学旅行に出かけます。主な行先は、佐賀県立宇宙科学館、大浦天主堂、長崎原爆資料館、平和公園、雲仙岳災害記念館、グリーンランドです。大分県から、福岡県を通過して佐賀県、長崎県に行き、長崎県で宿泊した後、フェリーで有明海を渡り熊本県に行きます。佐賀県立宇宙科学館は、地球や宇宙を五感で学ぶことができる参加体験型の科学館。長崎原爆資料館は、原爆の驚異と平和の尊さを世界に発信する施設。雲仙岳災害記念館は、火山の驚異と防災、復興の歩みを学ぶ施設。それぞれの施設で、実に多くのことを学べます。宿泊先は、島原のホテルです。綺麗な部屋に大浴場、豪華な食事と、非日常を味わいます。子どもたちは、修学旅行に向けて一生懸命、事前学習をしてきました。現地の学びも含めて、自分の考えをきちんと整理してくれることと思います。

学ぶ時は学ぶ、楽しむ時は楽しむ。それができる6年生です。

■余裕・余白・余力

「余」という漢字は、正、負、どちらのイメージでしょうか。余りとか残り物と捉えると負のイメージですが、余裕、余力のようにゆとりや豊かさと捉えると、一気に正のイメージとなります。子どもたちに正対する大人としては、気持ちに余裕を持ち、子どもたちが考えて行動できるような余白を提供し、余力のある働き方ができるようになりたいもの。そんなことは無理だと最初から諦めるのではなく、どうすれば少しでも余裕を持てるのか、余白を提供できるのか、余力が生まれるのか、考えて行動する大人でありたいですね。

■雨の日の昼休み

雨の日の昼休み、校長室が賑わう時があります。そこでは、子どもたちに伝えたいことを書いたカルタを使ったカルタとり、テニスボールでピラミッド作り、学級会のまねごとなど、面白い活動が繰り広げられています。それらの活動を見ていると、自分たちで考えてルール作りをしている様子や、自我のぶつかり合いでトラブルを生み出す様子が伺えます。その時は、自分たちでどのようにトラブルを解決するのか、口出しせずに見守ります。こういう活動を通して、折り合いをつける対話力が育まれるとよいなと思っています。